

講演における講演機材の取り扱いについて

1. 講演に必要なもの

学会運営が用意するもの

- ① 液晶プロジェクター
- ② モニター切り替え機
- ③ モニター-PC 接続ケーブル(図 1)
- ④ PC 用電源タップ
- ⑤ レーザーポインタ



図 1 接続ケーブル



図 2 PC 側出力端子
(15pin ポート)

講演者が用意するもの

- ① ノート PC
 - ※指定した映像出力端子があること(図 2)。
(Mac PC の場合は変換ケーブル持参)
 - ※バッテリー・マウス・電源ケーブル持参。
 - ※次の設定を確認してください。
 - ・スクリーンセイバーの解除
 - ・スリープモードの解除
 - ・省電力設定の解除
 - ・サウンド設定 off
 - ・映像解像度は XGA(1024×768)に設定
- ② バックアップファイル(powerpoint 2010 以前のバージョンの ppt ファイル)を入れた USB メモリ。

2. 会場の試写コーナーについて

発表のセッション開始 1 時間前までに試写を済ませて下さい。午前中の最初のセッションの講演者は 30 分前に各会場です試写を行って下さい。休憩室の一角に試写スペースを設けています。プログラムの会場案内図をご覧ください。

*動作確認の際に不具合が出た場合は必ず試写室で調整をしたうえで講演会場に入ってください。なお、試写室では接続チェックのみを行います。試写室では発表に使用されるデータ修正はできません。

3. 講演までの流れ

(I)PC 接続時間(休憩時間)に PC を接続する

- ① 接続ケーブルに PC を接続する。講演順と同じ番号の接続ケーブルに接続。
- ② PC を起動する。

(II)動作確認

講演に必要なファイルやプログラムを起動し、周りに明かりが漏れないように PC を閉じて待機して下さい。

(III)「次講演者席」で待機

(IV)講演者交代

PC の映像に不具合が生じた場合は会場の予備の PC (もしくは他の講演者の PC) を使用して、持参した講演ファイルの入った USB を接続して講演を行っていただきます。ただし、講演時間の延長はありません。スイッチャーの操作は係員が行います。

(V)講演

(VI)講演終了 講演が終了したら PC を元の場所に戻して、自身の席へ戻ってください。

PC の取り外しは 1 つのセッションの講演終了後に指定された係員が行います。

<Mac PC 接続コネクタおよび変換ケーブルについて>

映像出力端子から 15 ピン端子(メス)への変換ケーブルを用意して下さい。お忘れになると映写ができない場合がございますのでご注意下さい。